

旭川工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	材料化学ゼミナール	
科目基礎情報							
科目番号	0052		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	物質化学工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		後期:2		
教科書/教材	補助教材：Oxford Bookworms Factfiles (Oxford University Press), Penguin Readers Easy Starts (PGR0) 他、英文多読図書、めざせ100万語！多読クラス 読書記録手帳、プリント（大学センター試験問題・各種大学編入試験問題など）、英和辞書						
担当教員	梅田 哲,堺井 亮介						
到達目標							
1.辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握できる。 2.毎分100語程度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 (C-3)	辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を正しく把握できる。		辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握できる。		辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握できない。		
評価項目2 (C-3)	毎分100語程度で平易な物語文などを読み、その概要を正しく把握できる。		毎分100語程度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。		毎分100語程度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 物質化学工学科の教育目標 ② 学習・教育到達度目標 本科の教育目標 ① JABEE C-3 JABEE基準 (f)							
教育方法等							
概要	これまでに学んできた英語に関する知識・スキルを活用しながら、「速読」においては辞書に頼らず速読し大意を把握する能力を,「多読法」では易しい英文を大量に読むことによって,日本語を介さない直接的な英文理解能力を,それぞれ習得する。						
授業の進め方・方法	少人数による輪講形式で英語長文の和訳を行うグループと,日本語を介さずに易しい英文を大量に読む多読演習を行うグループに分かれ,独立に授業を行う。						
注意点	・教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目の割合はC-3(100%)とする。 ・総時間数45時間(自学自習15時間) ・自学自習時間(15時間)については,日常の授業時間(30時間)のための予習復習時間,理解を深めるための課題・レポートへの取り組み,および課外時間における多読活動の時間を総合したものとする。 ・評価については,合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合,各到達目標項目の到達レベルが標準以上であること,教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目を満たしたことが認められる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	全体ガイダンス・実力確認テスト		授業の目標,進め方,評価方法がわかる。		
		2週	A.速読グループ 長文読解1 B.多読グループ 多読1		A.辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し,その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B.担当教員の指導下で,日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,毎分100語以上で読み,概要を把握することができる。		
		3週	A.速読グループ 長文読解2 B.多読グループ 多読2		A.辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し,その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B.担当教員の指導下で,日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,毎分100語以上で読み,概要を把握することができる。		
		4週	A.速読グループ 長文読解3 B.多読グループ 多読3		A.辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し,その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B.担当教員の指導下で,日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,毎分100語以上で読み,概要を把握することができる。		
		5週	A.速読グループ 長文読解4 B.多読グループ 多読4		A.辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し,その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B.担当教員の指導下で,日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準(YL1.2)の英文を,毎分100語以上で読み,概要を把握することができる。		

		6週	A.速読グループ 長文読解5 B.多読グループ 多読5	A. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。
		7週	A.速読グループ 長文読解6 B.多読グループ 多読6	A. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。
		8週	A.速読グループ 長文読解7 B.多読グループ 多読7	A. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。 B. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。
	4thQ	9週	A.多読グループ 多読1 B.速読グループ 英文読解1	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		10週	A.多読グループ 多読2 B.速読グループ 英文読解2	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		11週	A.多読グループ 多読3 B.速読グループ 英文読解3	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		12週	A.多読グループ 多読4 B.速読グループ 英文読解4	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		13週	A.速読グループ A.多読グループ 多読5 B.速読グループ 英文読解5	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		14週	A.多読グループ 多読6 B.速読グループ 英文読解6	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		15週	A.多読グループ 多読7 B.速読グループ 英文読解7	A. 担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 基本語300～400語水準（YL1.2）の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 B. 辞書にあまり頼らずに英語長文の大意を理解し、その概要および要点を把握する能力を身に付ける。
		16週	学年末試験	学んだ知識の確認ができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題・レポート	合計	
総合評価割合		40	60	100	
基礎的能力		20	30	50	

專門的能力	20	30	50
分野横断的能力	0	0	0